

運送サービス企画～企画・設計：情報システムの構築

職務遂行のための基準

（情報システム構築計画の作成）

- 輸配送部門における情報システムの役割を理解し、会社と業界の動向を把握し、その影響と効果を考え計画を立案している。
- 顧客のロジスティクスシステムに沿った自社の情報システムを構築するにあたり、新規投資とするか既存情報システムの活用かを適正に判断した計画を立案している。
- 情報システムの開発における自部門の作業と他部門との業務範囲を明確に色分けし、優先項目を整理したうえでシステム計画を立案している。
- 顧客との情報交換や事業に関わる情報化対策（セキュリティ、不正アクセス）の重要性を把握、理解し情報システムに反映させている。

（情報システム構築の推進）

- 輸配送の効率化を目指すため、情報システムの開発に際して、他部門との情報交換を行っている。
- 情報システムの一層の安定化、効率化を目指すため、常に新しい情報機器の分析、検討を行っている。
- 情報システムの開発にあたって、社内だけでなく顧客、業界のニーズを把握するとともに、他部門と協調して業務を遂行している。

（情報システムの評価）

- 情報システムの構築による効率化の検証を行い、改善点を整理し、自己評価を行い、スキルアップを行っている。
- 情報システムの構築における問題・課題を速やかに上司に報告し、改善策を意見具申している。
- 情報システムに関わるトラブルやエラー発生防止の対策やリスク回避のためのデータのバックアップシステムの構築を推し進めている。

（必要な知識）

1. 情報システムの基本 ・データ通信の概念 ・データ処理の概念 ・自動認識技術の利用 ・情報セキュリティの概要
2. 物流情報システムの概念と設計手順 ・物流情報システムの設計と活用のポイント ・物流情報システム開発
3. 受発注出荷処理システム ・受注処理システム ・発注処理システム
4. 自社の経営方針、体制、寄託品に関する知識
5. 管理会計
6. プロジェクトマネジメント
7. SCM（サプライチェーンマネジメント）
8. リスクマネジメント

9. リーダーシップと人的資源管理
10. マーケティング知識
11. 物流マネジメント方針
12. トラブル処理の概要 ・ トラブルの種類と頻度 ・ 対応策と手順 ・ 緊急対応の種類と頻度
13. 問題解決技法の知識
14. 顧客、取引先、競合メーカー等の社外関係者に関する知識